

外国語教育メディア学会 (LET)  
2016 年度  
第 88 回秋季中部支部研究大会

# プログラム

日時：2016 年 12 月 11 日（日）9:30-17:00  
場所：鈴鹿中学・高等学校  
〒513-0831 三重県鈴鹿市庄野町里屋敷 1260  
Tel: 059-378-0307

研究大会実行委員長：豊住 誠（皇學館大学）  
研究大会副実行委員長：中川 右也（鈴鹿中学・高等学校）  
研究大会事務局：近藤 泰城（桑名工業高等学校）  
主催：外国語教育メディア学会（LET）中部支部  
後援：三重県教育委員会・鈴鹿市教育委員会



問い合わせ先  
メール：支部サイト  
<https://www.letchubu.net> の「お問い合わせ」  
外国語教育メディア学会（LET）中部支部事務局

Twitter: @LETChubu

## 日程

9:30 受付 【1階 ホール】

9:30 展示 【1階 ホール】

10:00－10:10 **開会式** 【1階 会議室】

司会：柴田里実（常葉大学）

主催者挨拶：高橋美由紀（中部支部支部長）

開催校挨拶：垣尾和彦（学校法人享栄学園・鈴鹿享栄学園理事長）

10:15－11:15 **2016年度 LET 学会賞新人奨励賞受賞記念講演** 【1階 会議室】

**「小中高大におけるアクティブ・ラーニングの展開－早稲田大学の事例から」**

**講師：石井雄隆（早稲田大学）**

司会：柴田里実（常葉大学）

講師紹介：福田純也（静岡県立大学）

早稲田大学では、Waseda Vision 150 実現のために、「入試戦略」「教学戦略」「展開戦略」「経営戦略」の4つの戦略の枠組みの中で、13の核心戦略を挙げている。その中の教学戦略の1つに「対話型、問題発見・解決型教育への移行」が存在する。この戦略を推進するために、『対話型、問題発見・解決型教育導入のための手引き』を開発・公開した。本手引きにおいては、グループワーク、ディベートなどのさまざまなアクティブ・ラーニング手法を紹介しており、またそれらをアイスブレイク、導入、展開、リフレクション、評価などの授業フェーズごとに紹介している。本講演では、早稲田大学におけるアクティブ・ラーニングの展開として、『対話型、問題発見・解決型教育の手引き』の内容に触れながら、MOOC を用いた反転授業などの新たな教育手法の紹介、教育現場におけるアクティブ・ラーニングのあり方について議論できればと考えている。

11:20－12:20 **ワークショップ**

**「電子黒板をインタラクティブに使って生徒をアクティブに」**【2階 3－1教室】

中川右也（鈴鹿中学・高等学校）：＜中学校・高校英語＞

中学校・高等学校の英語授業において、なぜ電子黒板やデジタル教科書などを活用すると効果的な授業が展開できるのかを、それぞれの基本的な機能を確認しながら、一緒に考えていければと思います。

**「Hi, friends!のデジタル教材で、こんなアクティブ・ラーニングの**

**授業ができます！（モジュール授業、45分授業での活用）」**【2階 3－2教室】

高橋美由紀（愛知教育大学）：＜小学校英語＞

小学校英語教育と外国語活動で、文部科学省の「DVD教材」を活用して、(1)明日の授業で使える、(2)主体的協働的なコミュニケーション活動を行なう、(3)モジュール学習でのヒントなど、効果的な指導方法を提案します。

12:20-13:20 **昼食**

**協賛企業ランチョンセミナー**

【1階 会議室】

12:25-12:40 Actiontec Electronics, Inc. 日本オフィス

12:40-12:55 株式会社桐原書店

12:55-13:10 チェル株式会社

13:30-14:35 **研究発表・実践報告**

(1) 13:30-14:00 (2) 14:05-14:35

<第1室> 【2階 3-1教室】 司会：宮崎佳典（静岡大学）

(1) RStudio サーバーを利用した言語統計学授業の実践と技術支援 【実践報告】

尾関 修治（名古屋大学）、小島 ますみ（岐阜市立女子短期大学）

川口 勇作（名古屋大学大学院生）

(2) タスク繰り返しのタイプが英語コミュニケーションに対する抵抗感に与える影響 — 指導介入前の抵抗感の高さを焦点として 【研究発表】

福田純也（静岡県立大学）

<第2室> 【2階 3-2教室】 司会：Douglas Jarrell（名古屋女子大学）

(1) デジタル教科書活用による授業改善の試み 【実践報告】

渡辺芳朗（愛知教育大学・静岡大学共同大学院）

(2) e-learning システムを用いた英語発音指導の実践 【実践報告】

野本尚美（仁愛女子短期大学）

平塚紘一郎（仁愛女子短期大学）

14:35-14:50 **和太鼓演奏**

【1階ホール】

鈴鹿高校・和太鼓部の演奏をお楽しみください。

14:50-17:00 **シンポジウム**

【1階 会議室】

**「学習者のやる気を引き出す授業づくりとは？—ICT教材の活用とその課題」**

コーディネーター 豊住 誠（皇學館大学）

パネリスト

(1) 中川右也（鈴鹿中学・高等学校）

発展的な語彙学習を促進するための動画を活用した授業

(2) 近藤泰城（桑名工業高等学校）

教室は インタラクティブ 人と人 基礎と基本は eラーニング

(3) 坂倉好子（津市教育委員会 教育研究支援課）

協同学習を活かした授業づくり（中学校の実践）

(4) 西山節子（名張市立つつじが丘小学校）

ICTを活用した小中連携英語教育（小中連携、スカイプやビデオレター及び電子黒板等 ICT活用）

小中高各校種からパネラーをお招きし、アクティブ・ラーニング、ICT活用、やる気を引き出す授業の在り方、そして近未来の学習といった欲張った内容で議論します。パネラーも短めに発言します。フロアの皆さまも短めの鋭い提案をご遠慮なくお願いします。シンポジウムをアクティブ・ラーニング化する新しい試みです！

18:30-20:30 **懇親会**

アーリーサンタモニカ

司会：近藤泰城（桑名工業高等学校）

開催校挨拶：豊住 誠（皇學館大学）

## 発表概要

<第1室> 【2階 3-1教室】

発表1 RStudioサーバーを利用した言語統計学授業の実践と技術支援 【実践報告】

尾関 修治（名古屋大学）、小島 ますみ（岐阜市立女子短期大学）

川口 勇作（名古屋大学大学院生）

英語教員や研究者の育成にあたっては、英語に関する知識のみならずデータ処理や統計分析に関する実践的な教育が必要不可欠である。発表者の所属する大学院において英語教育学等を専攻する学生を対象に、CALL教室とRStudioサーバーを使用した言語統計学授業の改善を試みた手法と成果を報告する。R言語によるデータ処理学習の環境としてRStudioのサーバー版をインストールした教育用サーバーを新規に設置した。これにより統計的データ処理・プロット・ライブラリ利用・レポート作成等を統合した環境をwebブラウザのみで利用でき、教員側から利用状況や成果物の管理もできるようになった。また、授業時間外にTAによる対面・オンラインでの支援も行い、その際もRStudio等の学習支援サーバーを活用した。教員・TA・サーバー管理者の連携とサーバー利用による統一された実習環境の提供により、効率的に言語統計学の実習が行えた。発表ではシステムの全体像と授業手法を中心に報告し、今後の拡張・応用について提案する。

発表2 タスク繰り返しのタイプが英語コミュニケーションに対する抵抗感に与える影響—指導介入前の抵抗感の高さを焦点として 【研究発表】

福田純也（静岡県立大学）

本研究は、二種類の異なったタスク繰り返しタイプ（同じタスクを2回ずつ繰り返す、毎回タスクを変えて繰り返す）によって、英語コミュニケーションに対する抵抗感が年間を通してどのように変化するか、そしてその変化が、授業前にもつ抵抗感にどのように媒介されるかを記述した。私立大学に通う131名の大学生が調査に同意し、分析対象となった。質問紙は磯田（2009）による、三要因からなる英語コミュニケーションに対する抵抗感尺度を用いた。一般化線形混合効果モデルを用いた分析の結果、すべての要因において授業前の抵抗感と時系列変化の交互作用がみられた。また、一部の要因に関してはタスク繰り返しのタイプとの交互作用も確認された。この結果をもとに、学習者が持つ抵抗感がどのような段階にあるときに、もしくはどのような点に問題を抱えているときに、どのようなタスク手順を選択するのが良いかという点に関して、現時点で得られた示唆について考察する。

<第2室> 【2階 3-2教室】

発表1 デジタル教科書活用による授業改善の試み

【実践報告】

渡辺芳朗（愛知教育大学・静岡大学共同大学院）

本実践は、英語力の格差が目立つようになる中学1年生の2学期において、ICT活用による授業実践での学習意欲の向上の可能性を探るものである。デジタル教科書の特徴を明らかにした上で、どのように活用すれば、学習効果が上がるかについて授業実践と事後調査から明らかにすることを目的とした。事後調査では、定期テストの「理解・表現・言語に関する解答分析」、生徒による「Can-Doを基にした4領域の自己評価」と「授業に対する意識調査」の分析を行った。授業および調査の対象者は、公立中学校1年生6クラス（180名）である。分析により、デジタル教科書の音声再生機能や表示機能を活用することによって、機能を活用しない授業よりも、「理解」「表現」「言語」において優位な結果が得られた。また、授業に対する意識調査において、「授業が楽しい」や「英語の授業に満足している」の項目回答の増加が認められた。デジタル教科書を活用すれば、生徒の学習意欲を高める英語の授業を期待できることが明らかとなった。

発表2 e-learningシステムを用いた英語発音指導の実践

【実践報告】

野本尚美（仁愛女子短期大学）

平塚紘一郎（仁愛女子短期大学）

英語の発音に対して苦手意識を持つ学習者が多い中、教育現場における発音指導はクラス全体に対して画一的に行われることが多く、一人ひとりの発音の問題点に対処することが困難である。そこで本研究では学習者が個人で発音練習を行うことができるようPraat（音声分析フリーウェア）とMoodle（学習管理システム）を連携させた学習システムを開発した。このシステムにおいて学習者はネイティブスピーカーの発話音声や学習者自身の発話音声、またそれぞれのピッチ波形（視覚フィードバック）を繰り返し参照することができる。このシステムを用いて発音指導を行ない、ピッチ波形を参照したグループと参照しなかったグループの英文発話音声を分析した結果、参照したグループは1秒あたりのピッチ変化量がやや多かったものの、有意差は認められなかった。この実践の詳細と今後の課題について述べる。

## 賛助会員展示

Actiontec Electronics, Inc. 日本オフィス

<http://actiontec.com>

株式会社桐原書店

<http://www.kirihara.co.jp/>

チエル株式会社

<http://www.chieru.co.jp/>

## 昼食

当日は学内の食堂は休業です。コンビニエンスストアは鈴鹿中学・高校門近くにありません。ご昼食を持参されることをお勧めします。

（飲料の自販機は1階にあります。）

## 懇親会

- ・時間：18:30～20:30
- ・参加費：3000 円（飲み物代含む）
- ・場所：アーリーサンタモニカ  
鈴鹿市白子駅前 21-8  
電話：059-388-5465  
最寄り駅：近鉄白子駅[出口 1]から徒歩約 1 分  
URL：http://asister.co.jp/santamonica/
- ・事前申し込み方法：下記の URL でお申し込みください。  
URL：https://www.letchubu.net/modules/eguide/event.php?eid=70  
事前の申し込み [12 月 5 日（月）まで] をお勧めいたします。定員に満たない場合は、当日でのお申し込みも可能です。
- ・懇親会にご参加されます方は、1 階出口 駐車場へお集まりください。また、近鉄白子駅から乗車されます方もバスをご利用ください。  
17:15 バス出発 白子駅へ到着し、徒歩で懇親会会場へ向かいます。

## その他の情報

- ・荷物置き及び控え室は 2 階 2－1 教室です。スーツケース等おいていただいて構いませんが、必ず貴重品はお持ちになってください。

## 大会会場アクセス

お車で来校されます場合は、鈴鹿中学・高校内の駐車場をご利用ください。

公共交通機関をご利用されます場合は、最寄りの駅から無料バスサービスがありますのでご利用ください。

往路：大型バス（55 席用）・中型バス（45 席用）2 台、（ ）は電車の到着時刻

\*近鉄白子駅—近鉄平田町駅—鈴鹿中学・高校

近鉄白子駅（8：49 着）8：55 出発→近鉄平田町駅（9：13 着）9：20 発→

鈴鹿中学・高校 9：40 着

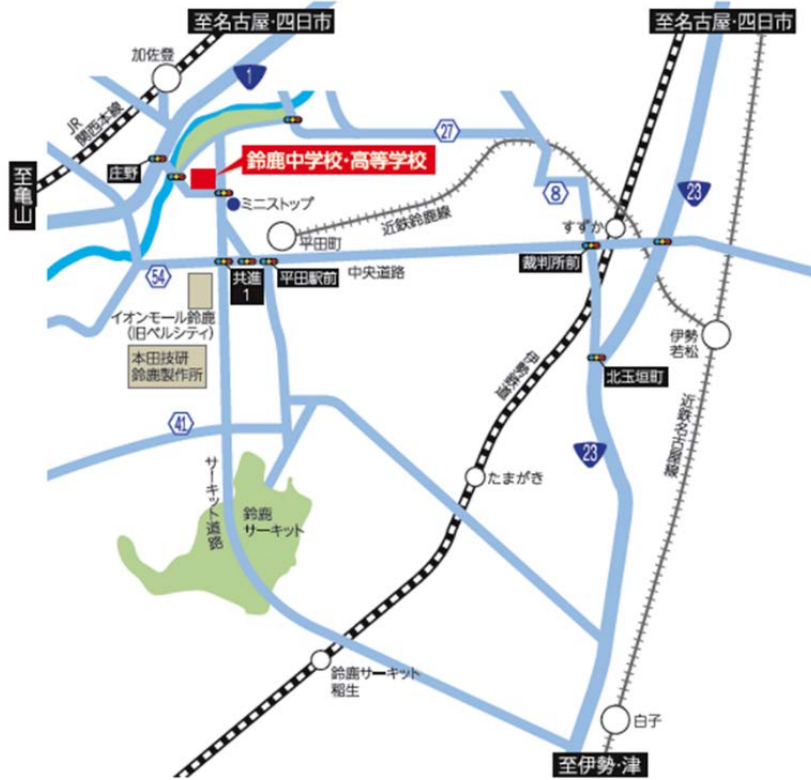
\*近鉄白子駅—鈴鹿中学・高校 JR

近鉄白子駅（9：13 着）9：18 出発→鈴鹿中学・高校 9：45 着

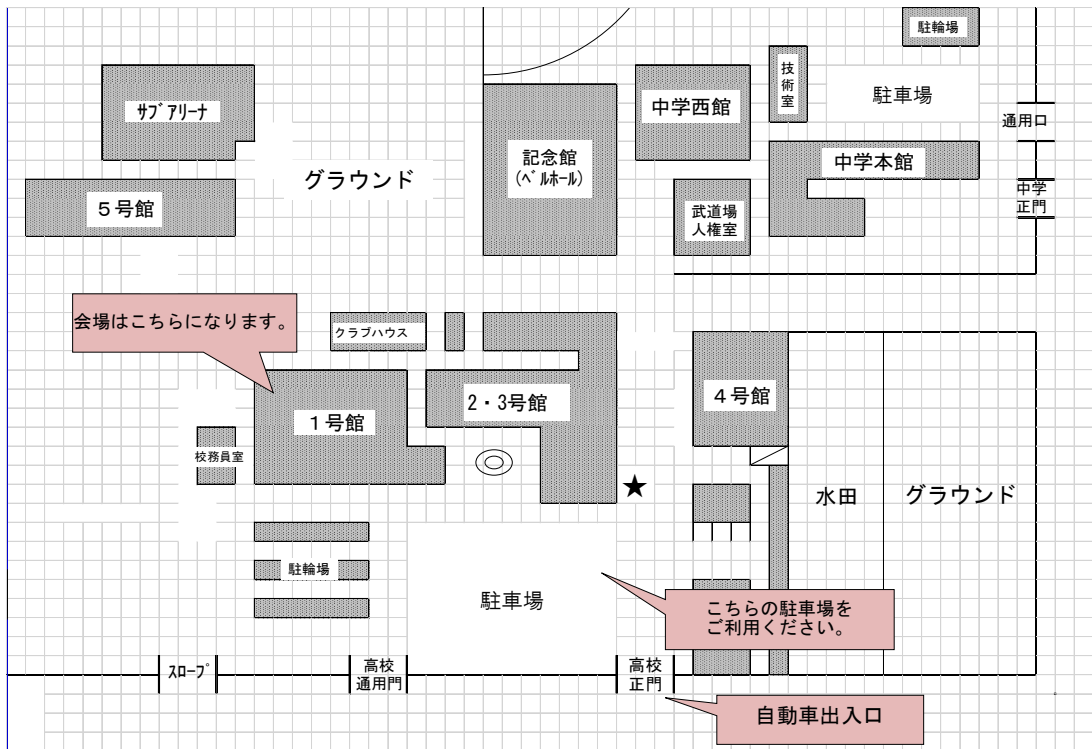
復路：大型バス（55 席用）・中型バス（45 席用）2 台

鈴鹿中学・高校 17：15 出発→近鉄白子駅 18：15 着

会場地図



会場案内図



## 大会参加のご案内

■会員の方の参加は無料です（ご参加までに、年会費をご納入ください）。

■非会員の方は当日会員参加費 1,000 円を受付にてお払いください。

LET 中部支部サイト：<https://www.letchubu.net>

本大会サイト：[https://www.letchubu.net/modules/xpwiki/?第 88 回支部研究大会](https://www.letchubu.net/modules/xpwiki/?第88回支部研究大会)

## 新規ご入会案内

LET 会員として入会手続きをしていただきますと、当日会員参加費金額が、年会費から割引されます。会員になられますと、LET 全国研究大会、支部研究大会（年 2 回）での研究発表、実践報告、紀要への投稿などをして頂くことができます。

- ・当日会員参加費として 1,000 円をお支払い下さい。
- ・LET 本部サイトにて入会登録をしてください（仮会員）。
- ・仮会員になられましたら、後日、年会費をご請求申し上げます（お支払いいただいた当日会費参加費 1,000 円を割引きます）。
- ・年会費をお支払いいただきますと、正会員になります。（3 ヶ月以内にお手続きをお願いします。）

**会員登録、会員情報の更新はこちらから**

**LET 本部サイト：<https://www.j-let.org/>**